７　　娘の心親知らず 　　　　　　　　　　　　　　連用形接続の助動詞②

都にわびしき女房侍りけり。かなしく思ふ娘一人持ち給へり。いかなる人Ⅰにも見せたくは思ひアしかども、しかるべきたよりもなかりけり。せめてこの女子をいかⅡにもして幸ひあらイせたく思ひて、男山八幡宮へあひ伴ひつつ参りけり。過ぎウし年ごろならば、輿、車にも乗るべかりしかども、わびしく衰へたることなれば、二人徒歩にてぞ参りエける。母は夜もすがら法施を奉りて、娘のことを祈誓申しけり。娘は何心もなく寝入りたり。母、おどろかして言ふやう、「疾う疾うとかく参詣して祈誓するも、誰がためぞ。親の思ふほど、身のことは思はぬにや」とうち口説きければ、娘とりあへず、

　身の憂さをなかなかなにといはしみづ思ふ心は神ぞ知るらむ

とうちながめオたりければ、母は、「日ごろは歌など詠むとも知らず。思ふままに寝入りたることをうらめしく思ひつるに、かやうの心Ⅲにてありけるよ」と思ふにつけても、いよいよいとをかしかりけり。

【本文チェック】

①□ア～オの助動詞の、文法的意味を（　）に書きなさい。

ア（　　　　　　）　イ（　　　　　　）　ウ（　　　　　　）

エ（　　　　　　）　オ（　　　　　　）

②　Ⅰ～Ⅲの「に」は、Ｘ形容動詞の一部・Ｙ助詞・Ｚ助動詞のどれか。それぞれ【　】に記号で書きなさい。

Ⅰ【　　　】　Ⅱ【　　　】　Ⅲ【　　　】

③傍線部「いはしみづ」には何と何が掛けられているか。〔　〕に適当な語句を漢字を用いて入れ、説明を完成させなさい。

石清水（八幡宮）と〔　　　　　　（しみ）ず〕

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

１　おどろかす〔５〕　　 ①（　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　 　　　②目覚めさせる

２　疾し〔６〕 　　　　　①（　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　 　　②（風などが）激しい

問２　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　にもあひ見ず、かなしきの顔をも見で死ぬべきこと。（源氏物語）

ア　いとしい　　　　イ　心ひかれる

ウ　かわいそうな　　エ　かなしい

（　　　）

２　高きしたまふ人は、おのづから行きまじりたるたよりものしたまふらむ。（源氏物語）

ア　手紙　　イ　つて

ウ　方法　　エ　ひま

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の傍線部の助動詞の、文法的意味と文中での活用形を答えよ。

１　かうこそ燃えけれと、心得つるなり。（宇治拾遺物語）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

２　年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。（徒然草）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

３　つねよりももの思ひたるさまなり。（竹取物語）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

問４　次の傍線部の助動詞の文法的意味を、後から選べ。

１　見渡せば山もとかすむべは秋となに思ひけむ（新古今集）

（　　　）

２　これを聞き①けむ人、いかに憎み笑ひ②けむ。（今昔物語集）

①（　　　）　②（　　　）

ア　過去推量　　イ　過去原因推量

ウ　過去伝聞　　エ　過去婉曲

問５　次の傍線部について、文法的に説明せよ。

１　君がため惜しからざり①しいのちさへ長くもがなと思ひ②けるかな　（後拾遺集）

①（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　山里は秋こそことにわびし①けれ　鹿の鳴くに目をさま②しつつ　（古今集）

①（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【古典常識】

問６　都の内外にはさまざまな寺社が存在し、平安時代には貴族たちを中心として参詣が多く行われていた。一般に「山」といえば比叡山（延暦寺）を指すのに対し、「寺」といえば何寺を指すか。次から一つ選べ。

ア　清水寺　　イ　三井寺

ウ　長谷寺　　エ　石山寺

（　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝過去　イ＝使役　ウ＝過去　エ＝過去　オ＝完了

②　Ⅰ＝Ｙ　Ⅱ＝Ｘ　Ⅲ＝Ｚ

③　言は（言わ）

問１　１＝はっと気づかせる　２＝早い

問２　１＝ア　２＝イ

問３　１＝完了・連体形　２＝完了・終止形　３＝存続・連体形

問４　１＝イ　２　①＝エ　②＝ア

問５　１　①＝過去の助動詞「き」の連体形

　　　　　②＝過去の助動詞「けり」の連体形

　　　２　①＝シク活用形容詞「わびし」の已然形活用語尾

　　　　　②＝サ行四段活用動詞「さます」の連用形活用語尾

問６　イ

【現代語訳・参考】

問２　１　父母にも会えず、いとしい妻子の顔も見ずに死ななければならないとは。

２　尊いお屋敷にお仕えになる方は、自然とお付き合いのあるつてもおありになる

だろう。

問３　１　このように燃えるのだなあと、わかったのだ。

２　長年の間（心にかけて）思っていたことを、成しとげました。

３　いつもよりもものを思っている様子である。

問４　１　見渡すと、山のふもとが霞んでいる水無瀬川（一帯の春の景色）だ。夕暮れ（の美しさ）は秋（に限る）と、どうして思っていたのだろうか。

２　これを聞いたような人は、どれほど憎み（あざ）笑っただろうか。

問５　１　あなたのためには惜しく思わなかった命までも、（あなたと逢うことのできた今は）長くあって欲しいと思うようになったことだなあ。

２　山里では、秋が他の季節と比べてひときわ寂しくてならないものだ。どこかで

鹿の鳴く声にしばしば目をさまされることよ。

問６　　滋賀県のはとも呼ばれる。